自分の体力を知ろう 軽スポーツフェスティバル

スポーツの日の10月12日（月・祝）、町教育委員会主催の軽スポーツフェスティバルが町民体育館において行われ、17人が参加しました。

最初に体力・運動能力調査として、反復横跳びや上体起こし、シャトルランなど計6種目の測定を行いました。

この調査では、自分の今の体力年齢が分かり、参加者の中には「体力がここまで減っているとは…。来年リベンジしたい」と感想を述べる方も。明日からの体力づくりのモチベーションになっているようでした。

軽スポーツ体験では「ボッチャ」を体験。3人1組のチームを全6チームつくり、リーグ戦を実施しました。子どもから大人まで夢中になり、どのチームも楽しんでプレーしていました。MVPを獲得した佐藤匡恭（ただやす）君（深浦小3年）は「相手のボールにぶつけて自分の得点にするのが難しかった。もう一回やりたい」とボッチャに夢中になった様子でした。







仮装した親子が商店街を練り歩く！「ハロウィンウォーキング」

10月24日（土）、町教育委員会主催の「ハロウィンウォーキング」が開催され、仮装した親子31人が参加しました。

公民館を発着点に、浜町商店街を練り歩いた子どもたち。個性豊かでかわいらしい仮装姿に、沿道からは「かわいい！」という声が上がり、子どもたちは地域の皆さんからたくさんのお菓子をもらいながら、楽しくウォーキングを満喫しました。

また途中では風待ち館のブックオフに立ち寄り、それぞれがお気に入りの本を購入しました。

ウォーキング終了後には、ハロウィンにちなんだチョコバナナ作りに挑戦したほか、ALTのケイラ先生とジリアン先生による英語の読み聞かせや、仮装コンテストも行われました。

地域の皆さんとの温かい交流や、さまざまなハロウィンイベントを通して、子どもたちにとって笑顔あふれる充実した一日となりました。









10月9日（金）、いわさき小5年生6人が浪岡集落支援員から手打ちうどん作りについて学びました。

生地を練る作業や麺棒で生地を伸ばす作業に苦戦しながらも、スタッフの力を借りながら楽しそうにうどん作りに汗を流していました。

伸ばした生地を切る作業では、太くなったり細くなったりと個性あふれる麺にできあがり、自分たちが作ったうどんをおいしそうに食べていました。「こねる作業が難しかったけど、うどんを切る作業が楽しかった」「そばよりうどんの方が好きになった」と感想を述べ、指導した浪岡集落支援員も満足げでした。





いわさき小うどん教室・地域との交流会

また同日、いわさき小3・4年生11人と、岩崎中、正久、黒崎地区の方々との交流会が行われました。

はじめに児童が手作りの名刺を渡し、自己紹介。その後、地区の方々にルールを教えてもらい、一緒にボッチャをプレー。はじめてボッチャをする児童たちは飲み込みが早く、「物覚えが早い」と地区の方々は感心した様子でした。

最後に子どもたちからは、合唱、合奏、暗唱を披露され、堂々と歌っている姿に皆さん感動していました。

この交流会は今回が初めての試みで、児童たちも地区の方々もとても楽しかったようで、「もう一回やりたい」と感想を述べる児童たちが多く、地域の方々も「おもしろかった」と大変充実した様子でした。





